

ふれあいネットワーク



三種町社協だより

おひさ

令和4年

9月

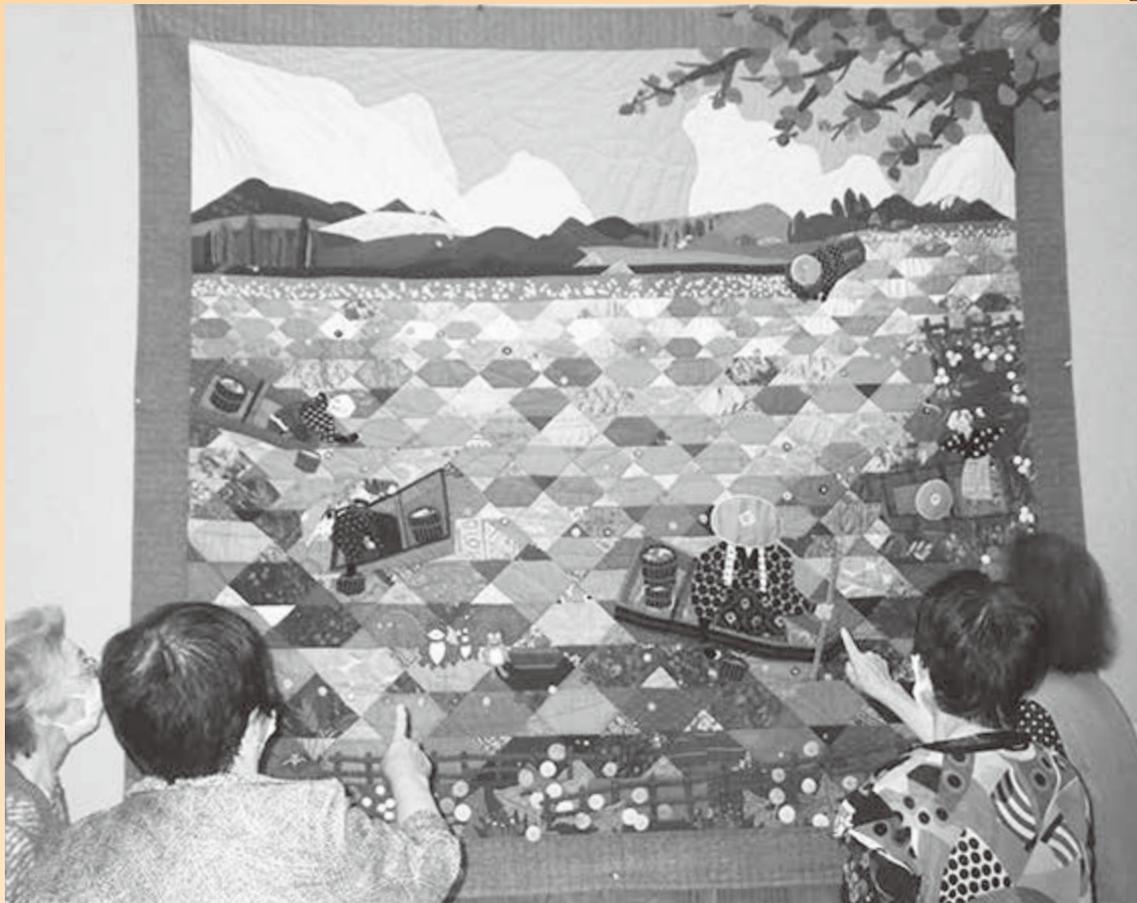
第65号

三種町社会福祉協議会
秋田県山本郡三種町森岳字上台 93-5
TEL (0185) 72-4400
FAX (0185) 83-3200

ホームページでもご覧になれます ▶▶▶

三種町社協

検索



『日本一のジュンサイを摘む』

寄贈 パッチワーク同好会

パッチワークは、様々な色や形の布をつなぎ合わせて一つの図柄を構成する美しい芸術です。地域福祉も、一人ひとりの個性ある人々が互いに手を取り、支え合いながら豊かな地域をつくるという意味では似ています。この美しい地域で一人ひとりが安心して暮らすことができるよう取り組みを進めてまいります。裏面には、「バンザーイ、明日も頑張ろー」と製作者達のメッセージが書かれています。



— 題 字 — ^{しんかい} 新海 ^{せいこ} 成子さん (萱刈沢)

「家族介護者交流会」を、とても楽しみにしております。

なぜかと言いますと、家では犬と猫、そして身体と言葉の不自由な人（家族）といつも一緒に、一日中会話をしない日があるからです。この交流会に行きますと、私のおしゃべりをとても良く聞いてくださり、参加者の皆さんともおしゃべり出来て、心が少しすっきりする様な気がします。

在宅介護の方は、きっと沢山いると思います。ぜひ参加してみたらよいと思います。ほんの少しでも気分が軽く、すっきりするかもしれません。

何事も、自分の心ひとつ。心しだいですから。

令和3年度は、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた1年でした。感染者及び濃厚接触者が発生した場合の業務のあり方について組織内で情報や具体的な方針を共有するよう徹底しました。あわせて、利用者や家族にも当会の方針を理解していただくよう丁寧な説明に努めました。

しかしながら、オミクロン株の感染力は非常に強く、当会の職員や家族も感染拡大の余波を免れることはできず、結果的に山本地域と琴丘地域のデイサービスを通算12日間休業しました。休業期間中は、事業所の消毒、利用者及び職員の体調観察、再開に向けた各方面との連絡調整等に万全を尽くしました。

また、『第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画』の計画期

間の2年目であり、ポストコロナの地域社会を見据えながら、地域の総合相談支援活動を担うコミュニティソーシャルワーカーと生活支援体制整備の要である生活支援コーディネーターとの連携・協働に努めました。

さらに、地域唯一の法人後見実施主体として活動すると共に、成年後見支援センターとの緊密な連携体制を構築し、地域の成年後見制度利用促進に取り組みました。

そのほか、新型コロナウイルス感染症及びコロナワクチン接種に係る特別休暇制度、ハラスメント防止の体制づくり、介護職員の処遇改善の取り組み等、職員が安心して働くことができる環境づくりに努めました。

令和3年度の活動の詳細は、次に掲げるとおりです。

1 法人の運営状況

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1)理事会 | 4回開催 |
| (2)評議員会 | 3回開催 |
| (3)評議員選任・解任委員会 | 1回開催 |
| (4)監事監査 | 1回実施 |
| (5)会計事務所会計指導(顧問公認会計士) | 毎月実施、決算指導1回 |

2 ソーシャルワークの展開

(1) 地域における総合的な相談支援活動

地域生活課題に広く対応する「ふれあいあんしんセンター」と一般高齢者から要介護高齢者等の介護予防・生活支援及び居宅介護支援に対応する「相談支援センター」の緊密な連携のもと、地域における総合的な相談支援活動(コミュニティソーシャルワーク)に取り組みました。

(2) 権利擁護センター(法人後見等)

開設から令和3年度末までに秋田家裁能代支部から受任した件数は累計13件です。被後見人の死亡により終了した事例が5件、市民後見人への移行事例が1件あり、令和3年度末時点の受任件数は7件となっています。

(3) 日常生活自立支援事業

令和3年度の相談件数合計は424件(前年度比42件の増)。新規契約に至った件数は8件、契約終了件数は6件、令和3年度末時点の契約件数の合計は43件です。本事業の主担当である専門員の支援実施回数は延べ136回。日常の具体的な支援を担う生活支援員の支援実施回数は延べ471回。特に、専門員の支援実施回数が前年度比64回(47%)増と突出しています。

(4) 成年後見支援センター

相談件数合計は49件。内容は多岐にわたりますが、総じて申立ての可否の判断ポイントや成年後見制度を利用することで対象者の抱える問題が解決するかという相談が多くありました。申立てに関する支援は7件で、実際に申立てに至ったのは3件でした。ほかに申立て準備中2件があります。また、能代市社協や八峰町社協との実務担当者同士の定期情報交換、家庭裁判所能代支部との市民後見人支援に係る定期情報交換を行いました。

(5) 市民後見推進事業

平成30年度に実施した市民後見人養成講座修了者を「法人後見支援員」として任用し、法人後見の履行補助業務に就いていただきました。支援活動は延べ63回(前年度比12回の減)ですが、コロナ禍による面会制限等で活動回数が減少したことが原因です。なお、令和3年10月に市民後見人養成講座修了者の中から初めて市民後見人が誕生しました。法人で受任していた被後見人を引き継ぐ「リレー方式」で移行しました。

(6) 福祉教育

小学校4校で実施し、参加延べ人数は200人。障がい当事者(2人)にゲスト講師をお願いし、うち1人は東京オリンピック・パラリンピックの車いす聖火ランナーの方に引き受けていただきました。また、金岡小学校の「金小元気プロジェクト」では、地域のサロン等と児童の交流の場のマッチングを行いました。

(7) 子どもの学習・生活支援事業

登録者は8人。内訳は高校3年生1人、中学3年生4人、中学2年生2人、中学1年生1人。新型コロナウイルスの地域での感染状況に配慮しながら、開催方法を会場集合型から自宅学習に適切切り替えるなど、創意工夫を凝らしつつ計画(全48回)どおり実施しました。特に、受験生に対してはコロナ禍でもモチベーションを切らさないよう励ましのメッセージを送るなど伴走型支援を行いました。ほかに子ども同士の関係性を育むプログラム及び職業選択に役立つ体験プログラムも実施しました。

(8) 学用品等再活用事業(リユース事業)

11人の方から74点の品物が寄せられました。利用申し込みは8人からあり、18点の品物をお渡ししました。前年度と比較すると、提供する人も利用する人も微増傾向にあります。少しずつ事業の広報が浸透し、地域住民に認知されるようになってきました。令和3年度は保護者の利便性に配慮し、初めての試みでしたが休日の令和4年2月26日(土)に品物の展示会を開催しました。親子連れを含め6人が参加しました。

(9) 家族介護者交流事業(スマイルの会)

年間4回実施し、延べ42人の家族介護者に参加していただきました。内容は認知症サポーター養成講座、りんご狩り、フラワーアレンジメント、ハンドクリームづくり体験&セルフケアでした。コロナ禍での開催であり、日ごろの感染防止対策に加え、会食の中止、短時間開催など、制約がある中でもプログラムを工夫しながら実施しました。

(10) 救急医療情報キット配布事業

令和3年度の新規配布世帯数(人数)は4世帯(4人)でした。全町累計では年度末時点で514世帯(535人)に配布しています。関連して、民生児童委員協議会と協働で取り組んでいる見守りネットワーク活動及びネットワーク会議で把握した内容をもとに緊急連絡表を作成・配布しています。令和3年度の緊急連絡表の新規配布世帯数は22世帯、更新世帯は3世帯でした。全町累計では年度末時点で366世帯に配布しています。

(11) 無料法律相談

共同募金の地域助成金を活用し、令和3年度は従前の隔月開催から毎月開催にしました。弁護士資格を有する相談員2人が交代で対応し、相談人数は合計35人、件数は合計37件でした。相談の概要は、借金問題と相続問題が多く、続いて土地問題、近隣トラブル等となっています。

(12) フードドライブ事業

令和3年度は個人や団体から多くの食材を寄贈していただきました。米については、個人や団体から計389kg受け入れ、生活困窮世帯を中心に43世帯の80人に302kg提供しました。米以外の食品は、個人や団体から計3,222品受け入れ、生活困窮世帯及び町内の幼稚園・保育園に1,378品提供しました。特に、幼稚園・保育園については、家庭での防災・減災意識を醸成する福祉教育の一環として非常用備蓄食アルファ米及び飲料水を提供しました。

(13) その他地域支援活動等

民生児童委員協議会との連携・協働のもとに小地域の見守

りネットワーク活動を推進しました。また、傾聴ボランティアグループや地域のサロン活動に対し、定期的な参加、チラシ作成及び研修講師の連絡調整等の支援を行いました。

(14) 生活支援体制整備事業

当該事業は、地域における多様な生活支援・介護予防サービス提供体制の構築を目的としています。令和3年度はコロナウイルス感染防止対策に努めつつ、地域のサロン活動への参加を中心に地域生活課題及び社会資源の把握に努めました(サロン活動への参加は19か所、延べ70回)。サロン活動以外では、民生児童委員協議会の定例会、各種福祉団体役員会及び自立支援型地域ケア会議に参加しました。また、当該事業を円滑に推進するための組織である「協議体」を設置しました。

3 在宅福祉サービス事業

(1) 活動について

福祉サービス課の所管するサービス提供事業所は、介護保険サービス及び障害福祉サービスの両方を提供できる事業所となっています。福祉サービス利用者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、本人の能力の積極的な活用を念頭に置いたサービス提供に努めました。また、利用者の生活課題の早期発見及び早期介入に向け、関係機関及び事業所との連携を積極的に図りました。さらに、非正規職員の処遇の改善を図るため、新たな処遇改善手当制度を創設しました。

(2) 事業について

①介護保険事業

- ・相談支援センター ・ホームヘルプサービス
- ・デイサービスセンター ・訪問入浴サービス

②介護予防・日常生活支援総合事業

- ・介護予防支援・介護予防ケアマネジメント
- ・ホームヘルプサービス
- ・デイサービスセンター

③障害福祉サービス事業

- ・ホームヘルプサービス
- ・山本デイサービスセンター

④受託事業

- ・生活支援ホームヘルプサービス ・移動支援
- ・生きがい活動支援通所
- ・身体障害者訪問入浴サービス
- ・配食サービス
- ・外出支援サービス

4 内部研修

日ごろ、訪問による相談支援や各種のサービス提供、通所介護サービスや外出支援サービスの送迎など、地域福祉や居宅介護に係わる諸活動には運転業務が大きな割合を占めています。業務用車両の安全な運行管理はもとより、全般的な安全運転に関する意識を醸成するため、秋田県火災共済協同組合及び独立行政法人自動車事故対策機構秋田支所の協力を得て「安全運転講習会」を実施しました。

5 実習生等の受け入れ

相談支援センターにおいて、秋田県介護支援専門員実務研修実習生1人を受け入れました。また、琴丘デイサービスセンターにおいて、秋田社会福祉専門学校の生徒1人をインターンシップで2日間受け入れました。

6 地域福祉センターの管理運営

三種町地域福祉センターを地域福祉の活動拠点ととらえ、地域住民の様々なニーズに応じた福祉活動、福祉サービス等を実施するとともに、事業計画に沿った効果的かつ効率的な管理運営に努めました。

7 共同募金への協力及び助成事業

秋田県共同募金会への協力として、三種町共同募金委員会の事務局を担いました。助成事業の募集、運営委員会及び審査委員会の開催、共同募金運動に取り組みました。また、本会においても地域助成金を活用し、広報誌発行事業、無料法律相談事業等に取り組みました。

8 その他の事業

(1) たすけあい資金貸付事業

令和3年度のたすけあい資金貸付件数は累計で45件(うち、新規貸付件数が12件)、償還完了件数が15件あり、継続件数は30件となっています。

(2) 生活福祉資金貸付事務

令和3年度の貸付事務件数は、累計で48件(うち、新規貸付件数11件)、新規貸付件数11件のうち10件がコロナ関連貸付となっています。償還完了件数が4件、他市町村への移管件数が2件あり、継続件数は42件となっています。

(3) 苦情等の相談・解決

令和3年度の苦情は1件でした。内容は、ホームヘルプサービスの援助内容に関するものであり、利用者とのコミュニケーション不足によるものでした。利用者にお詫びし、サービス提供に携わる職員全員で再発防止の取り組みを確認しました。

令和3年度 一般会計資金収支決算報告 (令和3年4月1日から令和4年3月31日)

(単位：円)

	収入の部		支出の部	
	勘定科目	金額	勘定科目	金額
事業活動による収支	会費収入	3,264,680	人件費支出	193,216,777
	寄附金収入	2,488,000	事業費支出	30,250,323
	経常経費補助金収入	63,610,841	事務費支出	46,893,112
	受託金収入	64,997,728	貸付事業支出	470,000
	貸付事業収入	637,000	助成金支出	864,000
	事業収入	2,841,136	その他の支出	500,741
	介護保険事業収入	137,773,506		
	障害福祉サービス等事業収入	10,231,330		
	雑収入	1,267,289		
	事業活動収入計(1)	287,111,510	事業活動支出計(2)	272,194,953
事業活動資金収支差額(3) = (1) - (2)			14,916,557	
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	1,440,000	固定資産取得支出	2,134,380
			ファイナンス・リース債務の返済支出	1,312,800
	施設整備等収入計(4)	1,440,000	施設整備等支出計(5)	3,447,180
	施設整備等資金収支差額(6) = (4) - (5)		△2,007,180	
その他の活動による収支	たすけあい貸付基金積立資産収入	470,000	たすけあい貸付基金積立資産支出	637,071
	その他の活動による収入(退職手当積立基金預け金返還金収入)	1,434,600	その他の活動による支出(退職手当積立基金預け金支出)	9,278,290
	その他の活動収入計(7)	1,904,600	その他の活動支出計(8)	9,915,361
	その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)			△8,010,761
	当期資金収支差額合計(10) = (3) + (6) + (9)		4,898,616	
	前期末支払資金残高(11)		62,780,151	
	当期末支払資金残高(10) + (11)		67,678,767	

10月から

赤い羽根共同募金運動

～じぶんの町を良くする仕組みにご協力を～

共同募金は、地域の様々な課題を共に考え、解決に向け取り組む活動や地域の福祉力向上を推進する活動を支えています。



令和4年度キャッチフレーズ



赤い羽根 幸せつなぐ心の羽(わ)



期間

10月1日～12月31日

担当の方が訪問します

世帯募金 600円以上

大口募金 1,000円以上

三種町共同募金委員会役員

会長 佐々木洋一
 副会長 荒川 公雄
 運営委員 船木 政廣
 運営委員 佐藤 文子
 運営委員 小山内美紀子
 監事 近藤眞喜子

今年度の募金で活動を予定する団体

- ◎琴 丘 小 学 校…ふくしん坊スクール
- ◎森 岳 小 学 校…福祉教育推進事業
- ◎金 岡 小 学 校…金小ふるさと元気プロジェクト
- ◎湖 北 小 学 校…ふれあい体験活動
- ◎浜 口 小 学 校…浜口小学校福祉教育推進事業
- ◎琴 丘 中 学 校…福祉施設訪問及び地域での社会貢献活動
- ◎八 竜 中 学 校…八竜ふるさとキャリア教育
- ◎八 竜 母 子 福 祉 会…ひとり親家庭のふれあい交流会
- ◎三種町手をつなぐ育成会…第12回本人活動支援事業交流会
- ◎三種町民生児童委員協議会…三種町ひとり暮らし高齢者プレゼント訪問
- ◎声のサークルかくれんぼ…「広報みたね」音訳・朗読会・研修会
- ◎琴丘地区声の広報ボランティアの会
…音訳テープ作成事業
- ◎三種町社会福祉協議会…広報誌発行事業、無料法律相談事業、災害時等備蓄品支給事業、他

三種で頑張っている人を紹介します

～今回は「声のサークルかくれんぼ」～

目の見えない人や文字を読むのが苦手な人へ、「広報みたね」を音読し、町の情報を声で届けています。心掛けていることは、写真の内容をどう言葉で伝えるか、「約」を「おおよそ」と置き換える等、聞き手になったつもりで工夫していることです。郵便局からの協力もあり、今は特別な封筒を使用し無料で届けることができます。

利用している人からも「カセットテープが届くのが待ち遠しい」「あんたがたの声を聞くのが楽しみ、聞くだけで元気が出る」「人と触れ合いたくなってくる」との励ましの言葉もいただいています。

お問い合わせ：三種町社会福祉協議会
TEL 72-4400



家族介護者交流会 ～季節のじゅんさい摘み採り体験～

スタッフ日記

三種町と言えば「じゅんさい」。収穫量は日本一として全国的に有名です。私自身も参加された皆さんも、そのじゅんさいを摘み採ることは初めてでした。

舟に乗り漕ごうとしても操作が難しく、じゅんさい一つひとつを丁寧に採りながら、摘み採り作業は大変でしたが、舟で移動する面白さや見つけた時の喜びは最高でした。

暑い日が続いていましたので、我が家では湯がいて生姜ポン酢で頂き、格別な味わいでした。今後も、家族介護者交流会を計画しています。介護疲れの軽減やストレスを和らげることにも繋がります。皆さんの参加をお待ちしております。



お問い合わせ：三種町社会福祉協議会 地域福祉課 TEL 83-4861

長信田の森若者就労支援センターからのお知らせです

リエゾンに来ませんか？

不登校・引きこもり・ニート・生きづらさを抱えている方へ。誰かに会いたい、誰かと話したいと思ったらふらっと来られるそんな居場所です。何かをしてもいいし、何もしなくてもいい。ゆっくりとお茶をしたり、雑談したりできます。相談もできます。保護者の方の相談も対応します。(秘密は守ります)

※予約制ではありませんが、不在にする場合もあるので事前に連絡いただくと助かります。

開催日時 月・火・金 10:00～14:00
(祝日はお休みです)

場所 交流施設 カフェ・リエゾン
森岳石倉沢1-2
(長信田の森心療クリニック敷地内)

対象 不登校・引きこもり・ニート・生きづらさを抱えている方

参加料 無料(教室などの材料費は一部実費です)

お問い合わせ

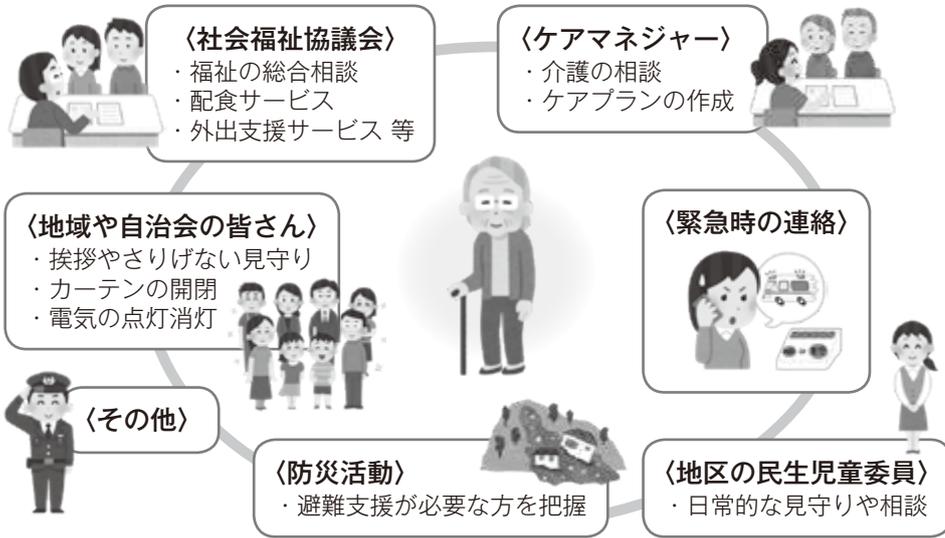
NPO法人 長信田の森 若者就労支援センター 電話：83-5034
Mail: jobseek@nagashidanomori.com 公式LINE もあります



社協では『小地域ネットワーク活動』をすすめています

小地域ネットワーク活動は何か特別なことをするのではなく、「一人暮らしのお隣さん、何か困っていることはないかな？」など、地域の皆さんが、困っている方や地域で孤立しがちな方に関心を寄せていただき、見守りつつ、必要な時に関係機関につなげる活動です。地域の皆さんと一緒に社会福祉協議会や関係機関が連携を取りながらサポートします。皆さんの「ちょっとした気付きを見逃さない」にご協力をお願いします。

～イメージ図～



災害時 避難所運営 シミュレーションゲーム
ハグ
「HUG」やってみませんか？

町内会や自治会の皆さん 必見です!!

地域の避難訓練活動や自主防災活動、避難所運営を考えるきっかけになります。詳しくは社協までお問い合わせください。

住み慣れた地域で安心して住み続けるために、みんなで支え合う取り組みです

～ 権利擁護だより ～

権利擁護支援の手段のひとつに「成年後見制度」があります。成年後見制度は知的障がい・精神障がい・認知症などによって、物事を判断する事に不安や心配のある人が、契約や手続きをするとき等にお手伝いする制度です。

成年後見制度には「法定後見制度」と「任意後見制度」があります。今回は「法定後見制度」の紹介です。

法定後見制度を利用すると、家庭裁判所がご本人の状態や生活の様子等を踏まえて、その人に合った成年後見人等を決め、ご本人の気持ちを確かめながら色々なお手伝いをします。

成年後見人等が できることは	成年後見人等に できないことは
<ul style="list-style-type: none"> ● 福祉サービスの契約や入院・施設への入所の手続き ● お金の出し入れのお手伝い ● 書類の確認 ● 定期的な訪問や状況確認等 ● よくわからずにしてしまった契約の取り消しができる場合もあります 	<ul style="list-style-type: none"> ● 食事の支度や掃除 ● 日用品の買い物 ● 毎日の訪問 ● 手術をするかしないを決める事 ● 入院、施設入所時に身元保証人になること など

※一度、成年後見制度を利用すると、原則、途中でやめる事はできません。よく考えて利用するかどうかを決める必要があります
※成年後見制度の利用をお考えの方は、一度ご相談ください。

三種町成年後見支援センター TEL：88-8004

『こんにちは、訪問入浴です』

～三種町で唯一の事業所～

足腰が弱って自宅のお風呂に入れず、困っている方はいませんか？ そんな時は、私たちにお任せください。ご自宅に浴槽を持って伺います。私たちの車にはボイラーがついており、車内でお湯を沸かして自宅のお部屋で入浴ができます。私たちにお風呂のお手伝いをさせていただきます。

入浴の効果

- ★皮膚が清潔になり皮膚トラブルを解消します
- ★新陳代謝を高め床ずれを予防します
- ★爽快感が得られ安眠効果があります
- ★気分がほぐれ、気分転換がはかれます。

ご家族より

話題豊富なスタッフと楽しく会話を交わしながら、気持ちよく入浴させて頂いています。着がえ・シーツ交換等、すべてお任せできるので、安心して家の仕事をしたり、休んだりすることができ、とても助かっています。

お問合せ先：三種町社会福祉協議会訪問入浴サービス
TEL：83-3900

『高齢者が住みなれた地域で住み続けられる町づくりを目指して』

～令和4年度 第1回三種町生活支援体制整備事業推進会議～

三種町では、地域の皆さんや各種団体、企業の関係者など様々な人々と連携しながら、高齢者への支援体制の充実強化や社会参加の推進を目標に、高齢者を支える地域づくりを進めています。

7月25日、三種町地域福祉センターにて、第1回目となる会議を開催し、事業の必要性や今後のスケジュール等を確認しました。後半はグループワーク。5～6人のグループで1つの村を想定し、地域の課題を出し合い、その課題に対して何ができるのかを話し合いました。



ゴミ出しや買い物、認知症の方のサポートが課題だよね



メンバーは、町福祉課、ケアマネ連協、ボランティア、民生委員、サロン活動者、自治会、社協等

★住みやすい地域づくりのためにみなさんのご協力をお願いします。

●●●●● 金岡小学校「元気プロジェクト」地域交流会 ●●●●●



金陵の館

7月8日、金岡小学校元気プロジェクトの一環として、金岡小学校の児童たちが企画した、地域交流会が開催されました。

金岡小学校3～6年生14人と地域サロンの方々、三種町社会福祉協議会などが参加しました。金岡地区・新田地区・中嶋地区の3カ所に分かれて七夕の短冊の飾りつけや、昔遊び・言葉ならべ替えゲーム・神経衰弱などで交流を深めました。

新型コロナウイルスの影響もあり、人と人との繋がりが希薄になっている今、今回の地域交流会は貴重な機会となり、お互いに楽しい時間を過ごすことができました。

互いに顔が分かると、何かあった際に声を掛けやすくなり、たすけあいの地域福祉が深まります。



新田児童館



中嶋ふれあいセンター

交流会にご参加くださった皆さま、ご協力くださいました団体・サロン・施設の皆さま、ありがとうございました！

サロン紹介 弘法町元気塾 (山本地区)

「現在、メンバー募集中です！」と代表の嶋田さん。月1回、第1または第3月曜日に弘法町児童館で開催しています。

閉じこもりの予防にもなり、参加することで地域の話題や、情報を知ることができます。皆さん大変仲良く、とても穏やかな雰囲気です。『地域には子供も少なくなっていますが、今後は世代間交流も積極的に行いたい』と話していました。



脳トレ頑張ってます！



お揃いの布で作った、ダンベルにぎにぎ棒で、元気な体作り。

地域のサロン情報 誰でも参加できます。

開催日時等はTEL：83-4861へお問合せください

地区	サロン名	開催場所
八竜	浜田元気かい	浜田公民館
	大曲介護予防サロン	大曲コミュニティセンター
	釜谷アカシアの会	釜谷公民館
	富岡コスモスの会	富岡公民館
	カトリア会	釜谷公民館
山本	中嶋健康クラブ	中嶋ふれあいセンター
	新田よりそいサロン	新田児童館
	槻田 和み会	槻田児童館
	ニッ森介護予防サロン	ニッ森児童館
	達子地区介護予防サロン	達子生活改善センター
	外ノ沢サロン	外ノ沢生活改善センター
	豊岡サロン	豊岡担い手センター
	森岳おしゃべり会	山本支所
	中嶋おたすけ愛委員会	中嶋ふれあいセンター
弘法町元気塾	弘法町児童館	
琴丘	小新沢サロン「こらさの会」	小新沢児童館
	長生会新屋敷コーヒーサロン	新屋敷地区集会所(平成館)
	浜鯉川磯前サロン	鯉川地区コミュニティセンター
	クラブサロン	山谷集会所



善意 ありがとうございます

(敬称は略させていただきます)

香典返し (8/24までの届出)

- ・小笠原 ハル (新屋敷北)
- ・近藤 明成 (新屋敷北)
- ・近藤 勘一 (長面)
- ・渡部 整悦 (志戸橋)
- ・加藤 勝子 (勝平)
- ・川村 望 (不動田)
- ・進藤 博美 (鶯の巣)
- ・田中 政喜 (安戸六)
- ・藤原 武美 (鯉川北)
- ・進藤 誠子 (金光寺)

- ・平澤 卓也 (不動田)
- ・加賀谷 幸悦 (大口)
- ・牧野 亨 (釜谷)
- ・田中 勝男 (安戸六)
- ・笹村 良一 (金光寺)
- ・高松 隆太 (林崎)
- ・河村 成人 (増浦)

- ・三種町老人クラブ連合会
山本支部 会長 大石正夫
タオル多数
- ・藤原 武美
タオル 他
- ・高松 隆太
タオル多数

寄贈

- ・パッチワーク同好会
パッチワーク



秋田県SDGsパートナーに 登録されました!

三種町社会福祉協議会では、事業活動などを通じてSDGs(持続可能な開発目標)の達成に積極的に取り組んでおり、このたび「秋田県SDGsパートナー」に登録されました。



AKITA SDGs

社協の使命である「この地域で住み続けたい」願いの実現を目指します。を大切に、今後も多角的な側面からの幅広い取り組みを実施していきます。

リユース市(学用品等再活用) を開催します!

制服や学用品を買い替える前に、リユース品を検討してみませんか? まだまだ着られる・使える学用品等があります。小さくて着られなくなった制服などの持ち込みも大歓迎です!

在庫には限りがありますので、事前にお問い合わせいただくとスムーズです。

日時: 9月10日(土) 14時~16時 料金: 無料
場所: 三種町地域福祉センター(森岳字上台93-5)

※制服をご希望の方は、学生証・生徒手帳など在学校を確認できるものをお持ちください

お問い合わせ TEL 83-4861

ホームページ リニューアルのお知らせ

日ごろより、三種町社会福祉協議会のホームページをご利用いただき誠にありがとうございます。このたび、ホームページを全面的にリニューアルいたしました。今後ともわかりやすく最新の情報をお届けするホームページを目指してまいります。

弁護士による 無料法律相談

金銭、土地、離婚、損害賠償等の法律全般についての困りごとの相談ができます。

- 日時
- ① 9月15日 14:00~16:00
 - ② 10月20日 14:00~16:00
 - ③ 11月17日 14:00~16:00

場所 三種町地域福祉センター
(森岳字上台93-5)

定員 最大4人まで(要予約)。
1名あたり30分以内の相談となります。

お申し込み・お問い合わせ

三種町社会福祉協議会 TEL: 83-4861

この事業は皆様からの共同募金の助成金の一部を活用し行われています。

編集後記

コロナ7波、8月大雨、長引く猛暑の中で迎えた今年のお盆。ご先祖様に手を合わせ、久々に会う家族と話を交わす。

盆踊り中止3年目。来年こそは地域全体で先祖供養したいものです。



- 本誌「三種町社協だより」は皆様からの共同募金の助成金の一部を活用し発行しています。